

会議の名称	平成 29 年度 第 1 回茅野市子ども・家庭応援会議		
開催日時	平成 29 年 12 月 12 日 (火) 19 時 00 分～21 時 00 分		
開催場所	茅野市役所 議会棟大会議室		
出席者	<p>※委員：山田会長、飯田委員、伊藤(孝)委員、保科委員、伊藤(楨)委員、宮林委員（岡田代理出席）、酒井委員（高木代理出席）、矢崎委員、畑中委員、中村委員</p> <p>※市：柳平市長、山田教育長、牛山子ども部長、井出地域福祉課長、柳澤健康づくり推進課長、五味子ども課長、五味幼児教育課長、有賀学校教育課長、立石保育総務係長、小林幼児教育係長、渡辺教育総務係長、阿部学務係長、平出子ども・家庭支援係長、前島子ども館長、半田子ども館主任、竹内発達支援センター次長、今井子ども係長、朝倉子ども係主査、小林子ども係主事</p>		
欠席者	<p>※委員：宮下副会長、原田(泰)委員、原田(正)委員、大久保委員、藤沢委員、大森委員、大作委員、滝澤委員、鷹野委員、丸山委員</p> <p>※市：樋口副市長、竹内健康福祉部長、長田子ども・家庭相談係長</p>		
公開・非公開の別	公開・非公開	傍聴者の数	0 人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容（概要）		
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 委員委嘱</li> <li>3 市長あいさつ</li> <li>4 教育長あいさつ</li> <li>5 会議公開の確認</li> <li>6 会議事項 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 第 2 次茅野市・子ども家庭応援計画（第 2 次どんぐりプラン）の進捗状況について</li> <li>(2) 第 3 次茅野市・子ども家庭応援計画（第 3 次どんぐりプラン）の策定状況について</li> </ol> </li> <li>7 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 茅野市子ども・子育て支援事業計画における事業の進捗状況について</li> <li>(2) 保育料の軽減について</li> <li>(3) 長野県の青少年健全育成等に係る事業について</li> </ol> </li> <li>8 その他</li> <li>9 閉会</li> </ol>		

○議事録

会長

1 開会

平成29年度第1回子ども家庭・応援会議を開催させていただく。

12月3日(日)にこども会議が開催された。大人では気づかない意見が出たりし「たくましくやさしい夢のある子ども」が育っていると思った。

しかし、子どもから「ここに来ている私達は大人とコミュニケーションを取れるが、来ない人は取れない」との意見があった。私達が接している子ども達だけを見て、自分たちが思い描いた子ども達が育っていると思っはいけないと感じた。視野を広げ、今まで気づかなかった事も考えていかなければいけないと思う。

子ども達が持っているものは素晴らしいものがたくさんある。私たちがどう引き出していかも考えていかなければいけない。

今日は、第2次どんぐりプランの進捗状況、第3次どんぐりプランに向けどういった事を盛り込んだらいいかという話も出ると思うが、多くの意見を出してもらえれば良いと思う。

2 委員委嘱

柳平市長

- ・市長が交代委員に委嘱書を交付

3 市長あいさつ

柳平市長

茅野市の子育て、人育ちのスローガンが「たくましくやさしい夢のある子ども、夢のある人間」である。たくましく、優しくなければ生きていけない。夢を持って実現していくことが当たり前になれる人間に育って欲しい。

子どもも大人も居場所が必要だと思う。居場所とは、人としっかりと関係し合う場所であると思う。場所を提供すると同時に、子どもが人と関わり合う力を身に付けられるように応援しなければいけない。この事がどんぐりプランそのものだと思う。

来年度から第5次総合計画が始まる。子育ての分野において基本計画となるのが第3次どんぐりプランである。「たくましくやさしい夢のある子ども」のために私たちが何をしていかなければいけないか、多くの意見をいただければと思う。

4 教育長あいさつ

山田教育長

10年後を見据え、なんとしても「たくましくやさしい夢のある子ども」を育てて生きたい。

2030年は全く予測不可能な時代になると思う。そうした時に、どうやって子ども達を育てていくのか、何を目指していくか考えなければいけない。

2020年大学入試改革がされる。今までの、知識の量や正確さから考える教育に転換してきている。茅野市では、豊かな学び合いといった形で考える授業を始めているが、これからこの事もしっかりと考えていかなければいけない。

また、グローバリゼーションの問題がある。世の中が進歩し発展すればするほど、自分の地域、伝統、文化を大切にし、人として変わらないものを見つめ直さなければいけない。縄文教育の中で生き方を考える事、茅野市版コミュニティスクールといった形で地域の中の学校を作っていくことが課題である。

支援が必要な家庭、子どもの問題が大きくなっている。0歳から18歳までを一貫し、福祉、教育、医療を繋いだ総合支援体制。それから幼児教育課、学校教育課、こども課、発達支援センターの連携の中で支えていく拠点が必要とのことで、来年度から子ども家庭総合支援拠点を設立していくことになっている。

茅野市の子どもが10年後を見据え、「たくましくやさしい夢のある子ども」に育てていければいいと思う。是非、思っていることを出し合い、良い教育を作っていきたいと思う。

#### 5 会議公開の確認

会長

前回と同様に、本日の会議を公開とし、会議録については、市のホームページに委員個人名は載せず「委員」と表示して公開して良いか。

委員

(良いとの声あり)

#### 6 会議事項

事務局

(1) 第2次茅野市・こども家庭応援計画(第2次どんぐりプラン)の進捗状況について説明

会長

質問はあるか。

委員

NPプログラムについて、実際に希望して参加する親が少ないと聞いているのでPRの方法を考えた方が良くと思う。

事務局

周知に努め、より多くの人に参加していただけるようにしていきたい。

会長

毎回定員に達しないのか。

事務局

定員に達するときもある。

事務局

(2) 第3次茅野市・こども家庭応援計画(第3次どんぐりプラン)の策定状況について説明

会長

どんぐりプラン策定委員以外の方にも意見を伺いたい。

委員	現在の冊子は味気ないので、見た目には楽しい配慮が必要。特に人口の推移等の社会変化を目で見て分かるようにして欲しい。
会長	その他はあるか。
委員	相談件数がとても多いと聞いたが、どこで受けているのか。謳い文句とならないように対応を強化して欲しい。 また、どのような手順で相談を行えばいいのか。受け入れ口をしっかりとわかるようにして欲しい。
事務局	こども・家庭相談係、発達支援センターへの相談が多いが、窓口はいくつかある。相談がこども・家庭相談係に繋がる体制で対応をしている。
委員	不登校の相談はどうか。
山田教育長	今のところ、学校教育課、こども課、発達支援センターに相談をしたり窓口は様々でやや複雑である。来年度から「子ども家庭総合支援拠点」ができ、窓口が一本化され相談しやすい体制になる。
委員	一本化してもらえれば良いと思う。
委員	未来プロジェクトによる子ども達への社会参加の機会提供は、どこに呼びかけをし、具体的にどこに参加する事が目的か。
事務局	呼びかけは、市内中学校、高校に行っている。どんな街づくりをしていきたいかを子ども達の目線で提案してもらっている。このことを話し合う中で茅野市の事を考えて、より良い街にしていくという部分で社会参加を行なっている。
委員	プレイパークへの参加は中高生だけが対象か。
事務局	企画は中高生だが、参加者は年齢問わない。
委員	呼びかけが広く伝わり、発展していけば良いと思う。
委員	主任児童委員会の中で虐待の問題を聞いている。茅野市には素晴らしい支援体制が出来ていると聞いているが、親が対応に対して同意してくれないので立ち往生してしまった。問題解決ができないか主任児童委員会で課題になっている。
事務局	子どもの虐待は重大な問題であることを理解して進めていきたい。

委員	<p>子どもと大人との関わりを増やす目的でも、プレイパーク、こども会議を開催している。子どもは参加してくれるが、大人の参加が少ない。子どもとの接点の場として、大人にも参加して貰って良いまちづくりができればいい。</p>
委員	<p>要保護児童、虐待問題への対応については、すでにこども課と連携をして様々な情報交換を行なっている。防犯については、やっという事、悪い事を自ら考える教育を行っている。また、被害に遭わないため防犯講話も行なっている。警察としても情報モラル教育に力を入れて関与していかなければいけない。警察だけでは出来ないなので、協力いただき子どもが楽しく生活ができれば良いと思う。</p>
委員	<p>第3次どんぐりプランの関係で質問をさせていただく。民間企業への働きかけをして、子育てをしやすい環境づくりに関して意見を聞く等の取り組みをしたか。</p>
事務局	<p>ベルビアの中にコワーキングスペースを作る。企業とのマッチングを行なう中で、女性就労の取り組みとして子育てをしながら働ける環境づくりを計画し、行なっていく。</p>
委員	<p>「体験で学ぶ」をできるだけ子ども達にさせていきたい。学有林も活用してもらいたい。</p>
委員	<p>子どもは市民の一員であるということを大事にしていきたい。学校が子育てに持つ責任は大きい。子どもから見て学校がどういう存在なのかを見直していかなければいけないと思う。</p> <p>地域社会と一緒に学校を作る、住民参加型の学校づくりの視点も第3次プランには必要。子どもも地域づくりの主体であるので、双方向の学校づくりを民間の力を借りながら作っていく方法も考えていく必要がある。</p> <p>部活動の存在が危ぶまれている。地域でどうサポートしていけるか考えて、どうしていく事が良いのかを両方向で考えていかなければいけない。</p>
委員	<p>保育園の0～2歳の入園が増えているが保育士が足りない。親育ちも応援していかなければいけない。地域に開かれている保育園としていきたいが周知が難しい。幼保小連携が広がってきたので、安心して小学校に入学できるようになった。いろいろな事が始まってこれからの課題に感じている。</p>
会長	<p>意見は、プランの中に取り込み実行していきたい。</p>
山田教育長	<p>警察との関係が非常に近く安心している。今後もお願いしたい。</p> <p>親育ちの問題については、研修をやるぞと言っても集まらないので、その発想を変えていかなければいけない。</p>

	<p>部活動、社会体育も問題となっているが、子どもの体力をどうするか考え、部活動、社会体育をどうするか考えなければいけない。</p> <p>先生の多忙解消の問題について、1番の目的は質の高い教育を作っていくこと。子ども達にどうなって欲しいかを考えてこの事をどうするか考える。</p> <p>現代は、何か問題があると、どこかに責任を持っていく。緩やかな問題共同体を作らなければ何も生まれない。</p>
事務局	<p>7 報告事項</p> <p>(1) 茅野市子ども・子育て支援事業計画における事業の進捗状況について説明</p>
会長	<p>病児病後児保育について、量の見込みに対して確保方策もしっかりできているが、実利用者数が少ないが、何か理由はあるか。</p>
事務局	<p>量の見込みについては、アンケート調査を行った際の利用希望者を反映しているが、実際の利用は少なかった。</p> <p>病気から少しでも回復すると保育園に行く傾向があるので、本当に困った方が利用している状況であると思う。</p>
会長	<p>実際には、病児病後児保育を利用したいが、保育園に行ってしまう事もあるのか。</p>
事務局	<p>保護者は、保育園の方が子どもを預けやすいので、体調が良くなると保育園を利用していると聞いている。利用予約があってもキャンセルが多い。</p>
事務局	<p>(2) 保育料の軽減について説明</p>
委員	<p>(3) 長野県の青少年健全育成等に係る事業について説明</p>
委員	<p>子どもを守る取り組みについて、条例の周知も大切だが、具体的に訴えていかないといけない。特に自画撮りの問題を子ども達に伝えていかないといけないのではないか。</p>
委員	<p>将来得代応援県民会議諏訪地域会議の構成員と連携をしながら、PR、普及に努めていきたい。</p>
山田会長	<p>8 その他</p> <p>その他、全体を通してなにかあるか。</p>
委員	<p>(なし)</p>

山田会長

9 閉会

..... 終了 21:00 .....